

# 霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進策定委員会

## 地域 霧が丘 1～6丁目

緑区の西方に位置し、地区の南側は旭区に隣接しています。昭和54年から日本住宅公団（現在の霧が丘グリーンタウン）の入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街です。

街路樹、歩行者専用道路など（通称「赤道」）、計画的に整備されていることが特徴的で、緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続いています。

平成20年に横浜市初の小学校跡の建物を活用した複合施設「霧の里」が開所し、住民の活動の場として定着してきています。

### <主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

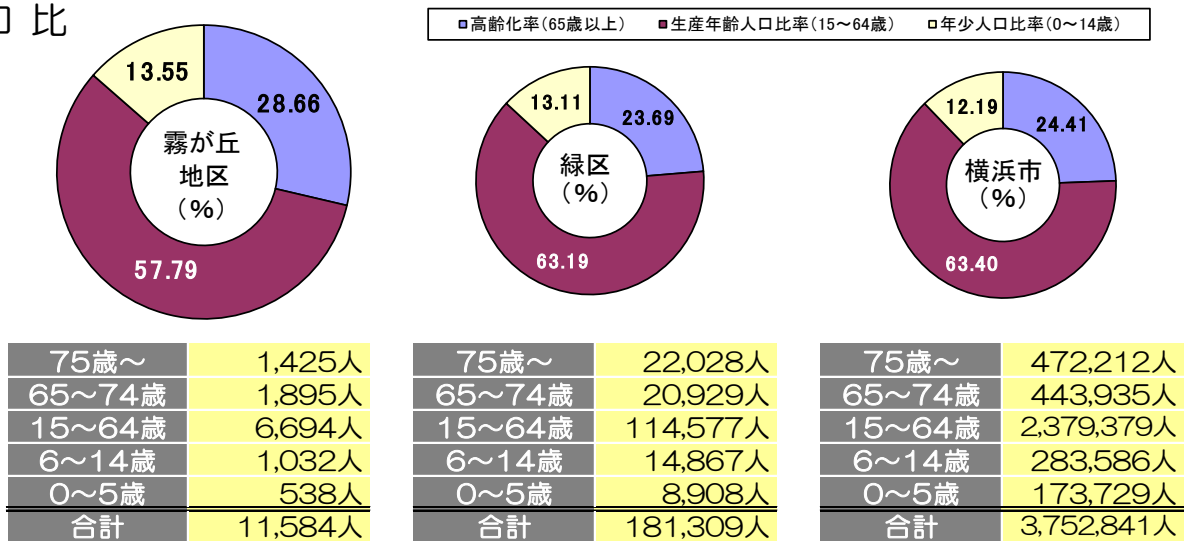
震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、霧の里（旧霧が丘第三小学校）

地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

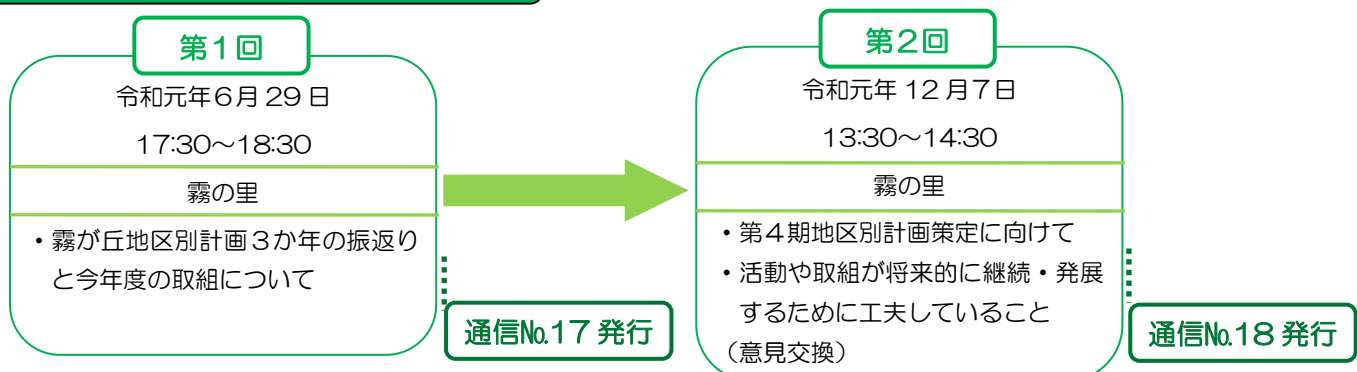
### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



### 地区別計画推進策定委員会の開催状況





# 霧が丘地区



霧が丘地区では、だれもが安心して暮らし続けられるために、3つの目標を掲げて活動しています

- 目標1 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 目標2 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 目標3 「安心・安全・健康」のまちづくり



霧が丘地区は、元気な高齢者が多く、地域活動が活発です。▲塚田委員長  
盆踊り大会や大運動会、どんど焼き、防災訓練など、子どもから大人まで参加できる行事や、異文化を学び、国際感覚を身に付けることを目的としたイベントなど、地域でのつながりを大切にするまちづくりに取り組んでいます。

## 元気づくりステーション

地域の中で高齢者の健康づくりを進める自主活動グループである「元気づくりステーション」が3か所で元気に活動しています。

参加することで身近な地域の中で顔見知りが増え、健康や介護についての相談が気軽にできます。さらに、活動が広がることで、仲間同士の助け合いから見守りにつながっています。



セラバンド (GT2)



ボール体操 (GT4)



ストレッチ (あかしあ)

## 霧が丘見守りネットワーク

活動6年目を迎えた『霧が丘見守りネットワーク』は、「みんなで支え合い・助け合いながら安心して暮らせる街をつくりたい!」と願いながら活動を続けています。見守りだけではなく、防犯パトロールや美化活動も併せて行うこともあります。

見守りネットワーク  
広報紙 ▶



霧が丘地区別計画推進策定委員会





霧が丘地区別計画推進策定委員会  
令和元年9月発行 第3期一第7号(通算第17号)



## 霧が丘地区別計画推進策定委員会通信

# 令和元年度第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和元年6月29日(土)17時30分から、「令和元年度みどりのわ・ささえ愛プラン第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会」を霧の里で開催しました。

地区別計画3か年の取組状況を振り返るとともに、今年度の取組について意見交換を行いました。

委員会での主な意見をご紹介します。



第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会の様子



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」(第3期計画：平成28年度～令和2年度)は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区域計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、今まで行われてきた取組を継続し、よりよいものに発展させていくため、3つの目標掲げて取組を進めています。

- 【目標1】 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 【目標2】 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 【目標3】 「安心・安全・健康」のまちづくり



### 霧が丘地区別計画推進策定委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの33人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」(第3期計画)の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

委員会では、33人のメンバーにより「霧が丘をよりよいまちにしていこう」と、活発な意見交換が行われました。

裏面で、委員会での意見交換の内容と関連する取組についてご紹介します。



## 委員会での意見交換の内容と 関連する取組についてご紹介します



### 地区別計画中間振り返りについて

第3期計画（平成28年度～令和2年度）の  
前半の3年間（平成28年度～平成30年度）の振り返りを行いました！

#### 【 委員会で振り返る、主な取組と成果 】

- ・元気づくりステーションを新たに2か所開設 …GT2（H29） / GT4（H30）
- ・各自治会や様々な団体が、気軽に参加できるサロンやイベント等を多様に展開
- ・防犯パトロールとあわせて戸外からの緩やかな見守りを実施
- ・「健康チェックの日」は霧が丘地域ケアプラザ開所以来、進展しながら継続実施
- ・MSO（みんなさいごはおひとり様）研究会の発足

#### 【 主な意見等 】

- 霧が丘地区は地域活動も活発で、元気な高齢者が多い。そのため、様々な活動や取組が継続されており、充実してきている。
- 元気な高齢者が健康を維持するための取組が大切なポイント。実施できている部分を充実させて、課題となる隙間を埋めていく考え方がこの地域には合っているのではないか。
- 担い手の確保が重要である。PTA活動などが活発なので、連携して取組みを進められるとよいのではないか。若い世代を取り込んでいけると活動が広がっていくと思う。役割があると行事に参加しやすいので、声をかけてほしい。
- 転入者に対して自治会への加入を促進している。特に子育て世代は悩みを抱えてしまうこともあるので、ぜひ近隣での顔の見える関係を築いていきたい。
- 季節に合わせたイベントの開催や、特典などを工夫して参加を促す仕組みを作っているのも、いろいろな行事などに広く参加してもらいたい。
- 誰でもふらっと気軽に立ち寄れる居場所があるとよい。



◀ 塚田委員長

見守りの継続や居場所づくりの検討など、引き続き地域の中で考えて取組んでいくことが大切です。

◀ 連絡先 ▶ 霧が丘地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課）





霧が丘地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期—第8号（通算第18号）

## 霧が丘地区別計画推進策定委員会通信

# 令和元年度第2回霧が丘地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和元年12月7日（土）13時30分から、「令和元年度みどりのわ・ささえ愛プラン 第2回霧が丘地区別計画推進策定委員会」を霧の里で開催しました。  
第3期計画の取組状況の振り返りを踏まえて、次期4期計画の策定について意見交換を行いました。



第2回霧が丘地区別計画推進策定委員会の様子



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」（第3期計画：平成28年度～令和2年度）は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区域計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、今まで行われてきた取組を継続し、よりよいものに発展させていくため、3つの目標を掲げて取組を進めています。

- 【目標1】 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 【目標2】 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 【目標3】 「安心・安全・健康」のまちづくり



### 霧が丘地区別計画推進策定委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの33人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」（第3期計画）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

委員会では、33人のメンバーにより「霧が丘をよりよいまちにしていこう」と、活発な意見交換が行われました。

裏面で、委員会での意見交換の内容と関連する取組についてご紹介します。





## 委員会での意見交換の内容と関連する取組について



## 第4期 霧が丘地区別計画の策定に向けて

令和3年度から始まる「第4期 霧が丘地区別計画」策定に向けて、現在の活動を今後もよりよく継続させていくために意見交換を行いました！

## 【みどりのわ・ささえ愛プラン第4期計画全体の方向性】

- ・多分野横断的な視点で計画を推進
- ・地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく

## 【主な意見】

- ・第3期計画で取り組んできたことを引き続き実施し、さらなる参加者や担い手を増やすことが必要。
- ・イベントなどは繰り返し広報して、新たな参加者を募ることが必要。
- ・直接声かけすると行事に参加してくれることが多く、楽しいと言ってもらえる。また、集まることで仲間づくりになり、次のつながりにも発展している。
- ・若い世代にも声をかけている。役割をもって参加できることが大切ではないか。
- ・これからの高齢化の進行に伴い、困りごとがある人が声を上げやすい環境づくりが一層大切になる。
- ・緩やかな見守り活動をしつつ、時には声かけもして顔の見える関係を作っている。
- ・元気づくりステーションは他の自治会からも参加して良いということが、よく知られていないのではないか？



広報紙 見守りネットワークだより「霧が丘あんしんサポート」で、活動や取組のPR特集をすることになりました！

【表面】



【内面】



各自治会に配布しています。ぜひ、ご覧ください♪

〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進策定委員会事務局 Tel: 930-2307 (緑区高齢・障害支援課)